

IEC/TC108/HBSDT会議より

IEC/TC108/HBSDT会議が2023年4月18日～19日に開催されました。昨年の秋に開催された会議の時点では、すべての国が対面会議に参加できる状況になっているかどうか不透明でもあったことから、Webでの開催としました。会議には60名以上の参加があり、活発な審議が行われましたので、その報告をいたします。

【TC108が所管する規格に関して】

IEC/TC108/HBSDTは、主にIEC62368シリーズ規格（オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器の安全性）を審議するためのワーキンググループ（作業部会）であり、TC108の中では最も参加人数も多い作業部会となっています。そのようなこともあり、他の作業部会の状況も含めた進捗の報告がありました。

IEC62368-1 第4版のFDIS（最終国際規格案）は可決されましたが、編集上の修正のコメントが多数寄せられていることから、EG1（編集委員会）での検討に時間を要しており、EG1での作業終了後、1～2か月でIS（国際規格）が発行される見込みとなっています。

IEC/TR 62368-2 第4版（IEC62368-1の要求根拠等を記載した技術レポート）のDTR（技術報告書原案）は可決され IEC62368-1 第4版発行と同時期の発行を予定していますが、編集上の修正も必要であり、遅れが生じる可能性があります。

IEC 62911（製造における電気的安全性ルーチン試験）の改正がこの規格を取り扱う作業部会（PT62911）で審議され、参加委員の中でのコンセンサスが得られたことから、CDV（投票用委員会原案）として発行を予定しているとの報告がありました。

IEC/TR 62102（情報通信技術ネットワークに接続される機器のインターフェースの分類）の改正については以前から審議されていましたが、2023年12月31日で廃止されるIEC60950-1の用語が使われていることから、Adhoc（検討会議グループ）で、各国に意見を求めるためのDC（コメント用審議文書）を作成することとしました。

IEC 63315（60 V以下の直流によるICT（情報通信技術）ケーブルを使用した、ICT 機器ポート間の電力転送）の作成については、2回目となるCD（委員会原案）に対して各国から多くの意見が寄せられたため、この規格作成の作業グループ（PT63315）で近日中に審議することが報告されました。

IEC 63316（60 Vを超える直流又は交流による通信）ケーブルを使用した、通信機器ポート間の電力転送）の作成については、CDV（投票用委員会原案）が発行されているとの報告がありました。（後日、このCDVは可決されています。）

【IEC 62368-1の改正審議】

IEC 62368-1 第4版に取り入れることができなかった事項等を反映しアップデートを行うため、第5版（又は追補）の発行に向け、審議を進めています。今回の会議では次の改定提案等がありました。

- 手首に装着する機器の温度上昇を測定するためにTC124が開発した装置を使用することの提案（試験の再現性の問題が指摘されておりIEC/TC124に確認が必要であることが指摘されました。）
- 単一パルスの電圧・電流の制限値を適用する際のパルス幅の決め方について
- 30 kHz を超える周波数における固体絶縁への要求事項の明確化
- 壁、天井又は他の構造物に取り付ける機器を試験する際に、径の大きいねじに加えるトルクの新たな規定
- 個人用音楽プレーヤに対する音圧制限を確認するために規定した二つの測定方法のうちの一つを削除

【今後の予定】

次回のIEC/TC108/HBSDT会議は、10月に開催が予定されているIEC総会の一部として、エジプトのカイロで開催する予定としています。

次回会議では、IEC62368-1の第5版（又は追補）の発行に向けた改正提案に関する事項、IEC/TC108が所管する他の規格のメンテナンスに関する事項、及び規格解釈に関する事項などの審議が行われる予定です。

【お問い合わせ先】

（一財）電気安全環境研究所
電気製品安全センター
E-mail : center@jet.or.jp

